



2026年4月22日

各位

会社名 株式会社 T O R I C O
代表者名 代表取締役社長 安藤 拓郎
(コード番号：7138 東証グロース市場)
問合せ先 専務取締役 鯉沼 充
(TEL. 03-6261-4346)

**営業外費用（暗号資産評価損）の計上及び
2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、営業外費用（暗号資産評価損）を計上いたします。これに伴い、2025年12月5日に公表いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想を、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（暗号資産評価損）の計上について

当社は、2026年1月27日付「第三者割当による第11回新株予約権（行使価額修正条項及び行使停止条項付）の発行及び新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」にて公表したとおり、保有する暗号資産（イーサリアム）について、購入後に移転制限措置を適用して固定資産として計上し、四半期ごとの時価評価による評価損益の計上は行わない予定としておりました。

しかしながら、その後の検討の結果、税務上の時価評価課税の適用対象外とするための移転制限措置は適用・維持しつつも、会計上の取扱いにつきましては、当社の財務状態をより適正に反映させる観点から、期末における時価評価を実施し、評価損益を計上する方針へと変更いたしました。

この方針変更に基づき、当社が保有する暗号資産（イーサリアム）について2026年3月31日時点の時価評価を行った結果、帳簿価額と時価評価額との差額を営業外費用として暗号資産評価損254,096千円計上いたしました。

(参考) 2026年3月末時点の暗号資産（イーサリアム）保有状況

期末保有数量：2,474,864,935 ETH
購入価格：1,080,294,257円
期末評価額：826,198,169円

2. 連結業績予想の修正について

2026年3月期通期業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,002	百万円 △134	百万円 △137	百万円 △148	円 銭 △17.33

今回修正予想 (B)	3,187	△67	△339	△375	△34.66
増減額 (B-A)	184	66	△202	△227	—
増減率 (%)	6.1%	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	3,677	△260	△264	△445	△58.86

(注) 1. 前回発表予想 (A) は、2025年12月5日公表の数値を記載しております。

2. 当社は2025年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算出しております。

3. 業績予想修正の理由

当期 (2026年3月期) の通期連結業績予想につきまして、売上高および営業利益は、既存事業において第3四半期以降の年末商戦などの繁忙期における EC サービスが購買率を維持し堅調に推移したことに加え、イベント事業において主力の「BL 映像化作品」や「配信者・ゲーム実況者企画」「アニメ・キャラクター」等で複数のヒットイベントが継続し多くの集客を実現したことなどから、前回発表予想を上回る見通しです。また、営業利益につきましても、売上高の増加に加え、販管費の戦略的な抑制などコスト構造の改善を進めたことが寄与し、営業損失は前回発表予想に比べ縮小する見込みとなりました。

一方で、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記「1. 営業外費用 (暗号資産評価損) の計上について」に記載のとおり、当社が保有する暗号資産 (イーサリアム) に関する会計上の評価方針を変更した結果、当期の暗号資産価格の下落に伴い、営業外費用として暗号資産評価損 254,096 千円を計上することとなりました。これにより、それぞれ前回発表予想を大きく下回る見通しとなったため、通期連結業績予想を修正するものであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上